

天沼中学校第9回学校運営協議会会議録

学校名 杉並区立天沼中学校

記録者 福井 晶子

開催日時	令和4年1月12日(月) 14時～16時15分
開催場所	会議室
出席者(委員)	三石会長、松尾校長、生重職務代理、大橋委員、齊郷委員、鹿野委員、柴田委員、田中委員、福井委員、根岸委員
出席者(学校)	高際副校長
傍聴者人数	無し

会議内容(次第順)

【報告事項】

(1)生徒と学校の様子(校長) (2)CSアンケート調査進捗状況(評価部会) (3)その他はなし

【協議事項】

議題(1)学校としての自己評価(案の提案と質疑、意見交換)(校長) ①校長先生から、11月に天中で実施した教育委員会作成「教育調査」結果表をもとに、主な特徴の指摘があった。②今後、他の実態調査や校内の分掌からの「年度末反省」等を基に、自己評価案を作成し、次回CS会議2月1日に提案する予定が示された。議題(2)今年度の関係者評価委員会の開催予定について(評価部会) 議題(3)3校合同CS協議会実施計画と準備について(企画部会) 議題(4)次号メビウス発行(編集構成と執筆依頼等)について(広報部会)

主な意見

【報告事項】

(1)生徒と学校の様子(校長) ①冬休み中も大きな事故、コロナ感染はなかった。②12月27日東京都の生徒会サミットが行われ、本校の生徒会役員が参加した。タブレットの使用方法を聞く等、生徒にとってよい刺激になったようだ。③1月15日のAKA(小中三校連携)はコロナ感染者増で中止としたが授業参観は行う予定。④1年生は百人一首大会。同じ日に行う予定の小中未来サミットは生徒会が中心になり小学生にアンケートをとり集計をとり企画してきた。各学校と時間調整をしてリモートで実施予定である。⑤1月24日「特色ある学校づくり」のプレゼンを高際副校長と中田先生の2人で行う予定。プレゼンの様子は学校で視聴できる。
(2)CSアンケート調査の実施状況については、①1月11日から18日までに実施(大橋、齊郷、根岸、福井、三石委員が立ち会い)したこと。実施結果は生徒・保護者・教師ともに90%程度の高い回答率となり、回答者の協力に感謝したいこと、②次会会議までに結果資料を作成し、必要な資料を事前に配布できるようにして、2月1日のCS会議、関係者評価会議に用意する予定である事が報告された。

【協議事項】

議題(1)学校としての自己評価についての質疑、意見交換では次のような点が出された。①「教育調査」結果の正確な回答者数と回収率を次回には示して欲しい ②ICTの利用状況は高くなっていることは、最近の学校の取り組み状況を反映しているのではないかと。③「教育調査」の結果表の下段黄色マーカーの「授業」関係に関して生徒からは厳しい回答内容となっている。また、「地域の行事」への参加状況が悪くなっていたり、生徒・保護者・教師での回答率の相違点が見ら

れる。これらの事に関わる考察が必要となってくるのではないかと。④小中一貫教育に関しては、保護者にとっては学校に來たりして実際を見ないと分からないことがあるのではないだろうか。次回のCS会議で、自己評価案とCSアンケート調査結果、学校の「年度末反省」等を基に、意見交換し、評価書案を作成することとなるという事が示された。

議題(2)今年度の関係者評価委員会の開催予定については、CS委員以外の3名の委員には日時を連絡してあり、一部欠席になる可能性があるが、予定通り、第1回を2月1日15時30分から行うことが提案され、了解された。

議題(3)企画部会からの3校合同CS協議会実施計画と準備については、①当面は開催「延期」することとした。それは三校の意向をふまえて開催校の天沼小学校の判断による提案であり、了解した。②本校CS主催の講演会はコロナ感染者増もあり、来年度開催を考へることとした。

議題(4)PR部会から、①次号メビウス発行について、編集構成と執筆依頼がなされた。②構成は四者研修会と3校合同、大橋委員のリレーコラムの原稿、アンケート調査のお礼とし、原稿は2月15日までに鹿野委員に送ることとした。③今後の予定は、2月28日レイアウト、3月7日直し、3月10日入稿、3月17日納期という予定が示された。

議題(5)「その他」では高際副校長より、①3年生は進路を決める頃になったこと、web出願が増えていて対応が難しいこと、コロナ禍で他校教員と会う機会が少なくなり連携に対する教員達の気持ちが難しくなったこと、1月22日のウィンターコンサートは中止になった。特色ある教育活動として今後もことだまは継続していきたい。そのための土台作りとしてICTを活用していきたい。

次回の会議日程

日時	令和4年2月1日(火)14時～15時30分 (その後、関係者評価委員会を開催します)
会場	会議室